

技術・家庭科（家庭分野）調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">○○○○○</div> <div style="text-align: center;">○○○○○○</div> </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにするため、どのような工夫がされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><実践的・体験的な活動の工夫> ○調理、製作等の実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な活動を通して学習することにより、習得した知識及び技能を生徒自らの生活に生かすことができるようにするために、どのような工夫がされているか。</p>	
資 料	○学習に関心をもたせ、学習効果を高めさせるために、どのような工夫が見られるか。 ○挿絵・写真・図表等、資料と本文の関係及び資料のレイアウトには、どのような工夫が見られるか。	
表記・表現	○家庭分野における学習方法の特質である衣食住などに関する実践的・体験的な活動を安全かつ効果的に進めるために、どのような工夫が見られるか。 ○タイトル・見出し・説明文などの使い方には、どのような工夫が見られるか。 ○用語・記号・図記号・単位・数値等の使い方には、どのような工夫が見られるか。	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<p style="text-align: center;">新しい技術・家庭 家庭分野</p> <p style="text-align: center;">自立と共生を目指して</p>	<p style="text-align: center;">2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">東 書</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○身に付けさせたい技能を「いつも確かめよう」にまとめて掲載したり、各節の最後に「まとめの活動」を設けたりする等、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされている。</p> <p>○編ごとに「学習のまとめ」「大切な用語（重要語句の一覧）」が掲載され、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○ガイダンスでは問題解決的な流れを具体例とともに示したり、各編の導入では、身方・考え方の例を示したりして問題解決に生かす工夫がされている。</p> <p>○実習例では、「私のオリジナル」として工夫例を取り上げ、生徒の創造性を引き出すことができるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○学習を深めるために「活動」として調査活動や比較実験等の課題を設け、家庭生活を見つめ、よりよい生活を創造しようとする態度を養うための工夫がされている。</p> <p>○学習に関わりにある人からのメッセージを紹介する等つながりを感じられる工夫がされている。</p> <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <p>○学校の実態や個に応じて、選択できる実習例が掲載されている。</p> <p>○実習や生活の中で必要な基礎技能をまとめた「いつも確かめよう」等で、技術の定着を図る手助けとなるような付録や写真・イラスト等の工夫がある。</p>	
資 料	<p>○本文と資料は「資料マーク」で区分され、ページ下には学習内容の関連コラムを「せいかつメモ」として掲載し、資料のレイアウトに工夫がされている。</p> <p>○実物大写真や多様なデジタルコンテンツ（実習動画・高齢者介助方法等）、付録の充実（防災手帳・幼児の視界体験眼鏡）と学習効果を高める資料の工夫がされている。</p>	
表記・表現	<p>○本文などには、UDフォントが使用されている。</p> <p>○実習例が大きく見開きで掲載され、安全・衛生の注意事項にマークを表記している。</p> <p>○紙面右端に「各編・各章」「実習例」「いつも確かめよう」の爪となる色帯表記、巻末に「言葉のページ（用語の解説）」と検索性を高める工夫がされている。</p> <p>○学習内容を関連付ける他教科・小学校マーク等、各種表記の工夫がされている。</p>	
総 括	<p>○別支援教育の観点から、学習しやすいよう内容及びデザインについて文字の書体、図版やイラストのレイアウト等に配慮がされている。</p> <p>○ガイダンスの後、B（衣食住の生活）、C（消費生活・環境）、A（家族・家庭生活）の内容の順に配列され、巻末に「生活の課題と実践」を掲載している。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する</p>	<p style="text-align: center;">6 教 図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見方・考え方を養うことができる「やってみよう」のページは、「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の3ステップで構成され、問題解決的に知識・技能を習得させる工夫がされている。 ○学習のまとめりごとに「章末のまとめ」が掲載され、学習の振り返りができる構成になっており、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問題解決的な学習を手順に沿って繰り返し取り上げ、見方・考え方の視点を意識し、生活を工夫し創造する力を身に付けながら、課題を解決できるよう工夫されている。 ○実習題材は、基本の作り方や「私のアレンジ」をもとに、生徒一人一人が自らの問題に合わせて工夫し、創造することができるように配慮されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○問題解決的な学習の進め方を具体的に見開きで紹介し、「やってみよう」で得た学びを活かして主体的に学習に取り組めるよう工夫がされている。 ○学習に関わりのある人からのメッセージを紹介し、社会とのつながりを感じられるような工夫がされている。</p> <p><実践的・体験的な活動の工夫> ○実習題材は、実習の流れが分かりやすく進めやすいような手順の工夫があり、実践的・体験的な活動を通して、知識・技能が身に付けられるように配慮されている。 ○ロールプレイング等の活動例が掲載されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○本文と資料はマークで区分され、「資料マーク」と「参考マーク」を示して資料に選択性をもたせ、また、視覚的な資料を掲載し、レイアウトに工夫がされている。 ○実物大写真や多様なデジタルコンテンツ（実習動画・幼児の様子等）、献立作成の学習で使用できる食品シールの付録等、学習効果を高める資料の工夫がされている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○実習例の注意事項に安全・衛生マークを付し、アレルギー物質を含む食材の代替え食品例を示している。また、実習の工夫例や失敗例も併せて掲載している。 ○紙面左上に「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」の爪表記がある。 ○学習内容を関連付けるリンク・共生マーク等、各種表記の工夫がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○特別支援教育の観点から、色遣いやフォント、余白のバランス、図の見易さ等、生徒の発達特性について工夫され、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ガイダンスの後、A（家族・家庭生活）、B（衣食住の生活）、C（消費生活・環境）の内容の順に配列され、巻末に「生活の課題と実践」を掲載している。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生</p>	<p style="text-align: center;">9 開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「調理方法Q&A」や「製作の基礎・基本」を掲載する等、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がある。 ○学習のまとめりごとに「ふり返り」「生活にいかそう」の欄があり、学習の自己評価ができるとともに、身に付いた知識・技能を生活に生かすことができるよう構成が工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○教科書全体を通して、学習過程が統一されており、学び方や進め方が分かりやすく、問題解決に向けて取り組みやすくなる工夫がされている。 ○様々な対話や意見交換ができる学習活動が取り入れられており、会話を通して考えを明確にするなど、生徒自らの考えを広げて深められるような工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習のまとめりごとに見通しをもち、生活の中から課題を見つけられるような本文の記述や課題が配置され、主体的に課題に取り組める工夫がされている。 ○学習に関わりのある人のメッセージやインタビューを取り上げ、社会とのつながりを感じられるような工夫がされている。</p> <p><実践的・体験的な活動の工夫> ○家庭でも取り組みたくなる調理実習例や、普段から使いたくなる製作実習例等、主体的に取り組める工夫がされている。 ○「グループワークの様子」等の活動例が掲載されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○本文と資料は「参考マーク」で区分され、奇数ページ右上に学習内容の関連写真や名称、各ページ下には豆知識を掲載し、資料のレイアウトに工夫がされている。 ○実物大写真や多様なデジタルコンテンツ（実習動画・幼児の様子等）が参照でき、基礎縫い動画は左利き生徒にも対応し、学習効果を高める資料の工夫がされている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○実習例は手順を大きく横流れに統一し、安全・衛生の注意事項はマークを付し、アレルギー物質を含む食材にも黄色を付して注意を促す表記をしている。 ○一つの見開きの中に本時の目標から学習活動、終末が見通せるようになっている。 ○学習内容を関連付ける他教科・実験マーク等、各種表記の工夫がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○特別支援教育の視点を取り入れ、読みやすい文章、カラーバリアフリー等、ユニバーサルデザインに基づいた設計で、使いやすくなるように配慮がされている。 ○ガイダンスの後、A（家族・家庭生活）、B（衣食住の生活）、C（消費生活・環境）の順の内容の配列になっていて、巻末に「生活の課題と実践」を掲載している。</p>	

技術・家庭科（家庭分野） 調査資料 2

○分量について

内容	東書	教図	開隆堂
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	304	306	302

○項目別ページ数について

< A 家族・家庭生活 >

内容	東書	教図	開隆堂
(1) 自分の成長と家族・家庭生活	6	12	12
(2) 幼児の生活と家族	36	34	30
(3) 家族・家庭や地域との関わり	11	10	12
(4) 家族・家庭生活についての課題と実践	2	2	2

< B 衣食住の生活 >

内容	東書	教図	開隆堂
(1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴	8	12	8
(2) 中学生に必要な栄養を満たす食事	18	20	26
(3) 日常食の調理と地域の食文化	58	58	52
(4) 衣服の選択と手入れ	24	26	24
(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作	26	22	20
(6) 住居の機能と安全な住まい方	22	22	18
(7) 衣食住の生活についての課題と実践	3	6	4

< C 消費生活・環境 >

内容	東書	教図	開隆堂
(1) 金銭の管理と購入	14	24	14
(2) 消費者の権利と責任	10	18	20
(3) 消費生活・環境についての課題と実践	1	2	2

○学習指導要領との関連について

内容	東書	教図	開隆堂
(1) ガイダンスに関する内容のページ数	14	16	12
(2) 日本の生活文化に関する内容の掲載箇所	29	25	21
(3) 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の掲載箇所	46	54	59
(4) 問題解決的な過程を重視した学習の充実を図る内容の掲載箇所	62	75	56
(5) 言語活動の充実を図る内容の掲載箇所	12	31	29

○配慮事項について

内容	東書	教図	開隆堂
(1) キャリア教育についての配慮がされている箇所	17	18	19
(2) コンピュータや情報通信ネットワークの活用を図った箇所	44	54	62
(3) 防犯意識を高める工夫がされている箇所	8	12	12
(4) 特別支援の観点への配慮がされている箇所	教科書全体	教科書全体	教科書全体

○その他

内容	東書	教図	開隆堂
(1) 題材数	19	12	12
(2) 製作品・調理実習の例示数	24・52	7・55	10・44
(3) 観察・実験、見学、調査・研究の例示数	77	87	92
(4) 安全・衛生に配慮する項目を取り上げている箇所数	46	58	55